（４）生きた建築ミュージアム事業

事業概要

【事業目的】

- 本事業は、都市魅力創造戦略（平成 24 年 12 月策定）における重点エリアのマネジメント〔御堂筋フェスティバルモール化〕の主要プロジェクトの１つに位置づけられたものである。
- 御堂筋エリア全体（御堂筋及びその周辺[船場・中之島等]）を１つの大きなミュージアムと捉え、そこに存在する「生きた建築」※を通して、国内外の人を惹きつけるクオリティの高いにぎわいへとつながる大阪の新しい魅力を創造・発信することを目的とする。
- 平成 25 年度から、戦略のシンボルイヤーである平成 27 年度に向けて、建物選定や魅力発信に関する取組みを進め、「生きた建築」を通して見えてくる、時代の流れや多様で豊かな都市の物語性を大阪の新しい魅力として創造・発信することで、「生きた建築ミュージアム」の実現をめざす。

【主な事業内容】

○ 建築物等の選定

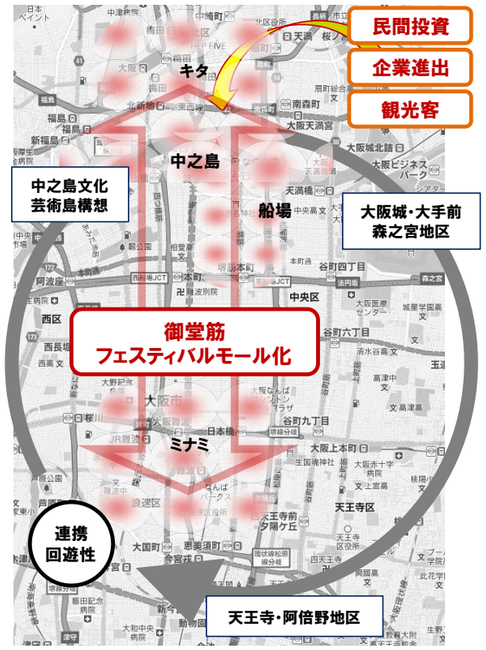
- 都市魅力創造に資する建築物等を選定（有識者会議の意見を踏まえ、所有者の同意のもと、市長が選定）。
- 生きた建築ミュージアム・大阪セレクションとして公表

○ 選定した建築物等の再生

- 魅力向上のための建築物等の再生整備支援制度の創設 （選定した建築物等の特徴である装飾やデザインの再現・修復といった外観整備費等補助）

○ マネジメント

- 民間と連携した「生きた建築ミュージアムの実現」



※「生きた建築」とは、この事業で定義した『**ある時代の歴史・文化、市民の暮らしぶりといった都市の営みの証であり、様々な形で変化・発展しながら、今も生き生きとその魅力を物語る建築物等**』をいう新しい概念。

これまでの具体的な取組み（平成 25 年度）

○ 事業スキームの構築

- H25.4 月　　生きた建築ミュージアム事業基本要綱の制定等

○ 建築物等の選定（生きた建築ミュージアム・大阪セレクションの選定）

- H25.10 月　　28 件を選定
  今回は、大正から昭和初期（いわゆる「大大阪の時代」から戦後復興・高度成長を果たした 1960 年代までの「生きた建築」から選定。

＜生きた建築ミュージアム・大阪セレクション＞（順不同）

①梅田吸気塔／②ダイビル本館 ／③大阪商工信用金庫新本店ビル[計画中]（旧本町ビルディング）
④北野家住宅／⑤食道園宗右衛門町本店ビル／⑥純喫茶アメリカン／大阪ガスビル
三井住友銀行大阪本店ビル／ルポンドシエルビル（大林組旧本店）日本聖公会川口基督教会
大阪証券取引所ビル／生駒ビルヂング／武田道修町ビル／船場ビルディング／新井ビル
堺筋倶楽部／清水猛商店／芝川ビル／大阪倶楽部／輸出繊維会館／日本基督教団大阪教会
今橋ビルヂング（旧大阪市中央消防署今橋出張所）／グランサンクタス淀屋橋／大丸心斎橋店本館
南海ビル（髙島屋大阪店ほか）／髙島屋東別館／船場センタービル ／西長堀アパート

①梅田吸気塔

②ダイビル本館

③大阪商工信用金庫新本店ビル

④北野家住宅

⑤食道園
宗右衛門町本店ビル

⑥純喫茶アメリカン

○ 生きた建築ミュージアムの実現に向けた実証実験

- H25.11 月　23 日（土祝）、24 日（日）の 2 日間を中心に、大阪セレクションの建築物等を核とした実証実験を実施。
- 特別公開やスペシャルツアー、トークセミナー、写真展等、シンボルイヤーに向けた「生きた建築」の魅力発信、情報発信のための実験的な取組み（生きた建築ミュージアム 2013　大阪セレクション×実証実験）。

今後のスケジュール

- H25 年度（1～3 月）　建築物等の再生整備補助制度の立ち上げ　等
- H26 年度　建築物等の選定及び再生整備の実施、建物所有者をはじめとする民間との連携・協力体制の確立、プレイベントの実施　等
- H27 年度　生きた建築ミュージアムの実現（シンボルイヤーイベントの実施　等）